

資料3－2

社会課題	基本方針	施策分類	現在運用中の制度等	現状 ※数値データは最新値を掲載	2030年に向けた主な取組	2030の到達点	参考URL
共通	都市緑化 道路緑化	都市緑地の保全・創出	国営公園事業	国営公園の年間入園者数：3,464万人	各公園の基本計画等に基づき着実に整備を進めるほか、周辺地域を含めた更なる活性化及び多様な社会ニーズへの対応のため、適切な維持管理を行う。	国営公園の年間入園者数：3,700万人	https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_kokuei.html
			都市公園事業	1人当たりの都市公園等面積：10.9m ²	都市公園の整備や再整備に向けた資金的援助の継続	1人当たりの都市公園等面積：○m ²	—
			緑地等事業（特別緑地保全地区、市民緑地、緑化地域）	制度の周知・適正な管理の支援 都市域における水と緑の公的空間（制度等により永続性が担保されている自然的環境）確保量：14.2m ² /人	制度の周知・適正な管理の支援	都市域における水と緑の公的空間（制度等により永続性が担保されている自然的環境）確保量：15.2m ² /人	—
			特別緑地保全地区における機能維持増進事業		制度の周知・適正な管理の支援 機能維持増進事業への財政支援や当該事業への都市計画税の充当措置の活用を促す		—
			生産緑地制度	制度の周知・適正な管理の支援	制度の周知・適正な管理の支援	多くの自治体で適切な維持管理が行われている	—
			環境に配慮した優良な民間都市開発事業		民間都市開発推進機構による金融支援を引き続き推進		—
			グリーンインフラ活用型都市構築支援事業	グリーンインフラの導入が十分に進んでいない	交付金や個別補助金により官民連携・分野横断によるグリーンインフラの整備を支援	当該事業を活用したグリーンインフラ実装を進める	—
			道路緑化技術基準	街路樹の点検が十分に実施できていない自治体がある。	新たに作成する街路樹点検の実施促進のためのガイドラインに基づき、新技術を活用しつつ、計画的な更新や管理等による道路緑化や適切な維持管理を推進。	多くの自治体で適切な維持管理が行われている	https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/gairoju/index.html
			都市公園ストック再編事業	地域のニーズを踏まえた新たな利活用や都市の集約化に対応し、地方公共団体における都市公園の機能や配置の再編が必要	住民の合意形成に向けたコーディネートや計画策定、社会実験などのソフト面の支援やハード面の支援の継続	地域のニーズを踏まえた新たな利活用や都市の集約化に対応し、地方公共団体における都市公園の機能や配置の再編を進める	001423857.pdf
良好な都市・生活空間	都市空間の利活用	都市公園事業	都市公園事業	緑の基本計画のうち、こどもの遊び場や親同士の交流の場の創出に関する施策を位置付けている計画の割合：25%	みんなが遊べる、みんなで育てる都市公園の遊び場づくり参考事例集の広報等による自然豊かな遊び場の確保や子育て世代が憩うことのできる空間整備の促進	緑の基本計画のうち、こどもの遊び場や親同士の交流の場の創出に関する施策を位置付けている計画の割合：39%	https://www.mlit.go.jp/toshi/park/content/001738649.pdf
			まちなかウォーカブル推進事業	滞在快適性等向上区域を設定した市町村数：132市町村（R7）	官民連携まちづくりの手引きやストリートデザインガイドラインの周知 全国の「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに関心がある方を対象としたマチミチ会議を通じた普及啓発	滞在快適性等向上区域を設定した市町村数：200市町村	https://www.mlit.go.jp/toshi/walkable/guideline/
		街路空間の利活用	—	ほこみち（歩行者利便増進道路）の活用	人中心の道路空間のあり方の検討	人中心の道路空間を創出し魅力を向上させる手法の展開	https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/people-centered_road-space/index.html
			かわまちづくり支援制度	魅力ある水辺空間の創出を行った箇所数：286箇所（2024年度）	魅力ある水辺空間創出のためのかわまちづくりの推進 「かわまちづくり」の優良事例等について整備内容と効果について分析し、かわまちづくり計画作成の手引きへ反映し横展開する。	魅力ある水辺空間の創出を行った箇所数：350箇所	https://www.mlit.go.jp/river/kanryo/main/kankyou/machizukuri/
	河川空間の利活用	河川敷地占用許可制度	河川敷地占用許可制度	事例集の作成	河川空間のオープン化活用事例集を活用した優良事例の横展開 河川敷地の更なる規制緩和『RIVASITE』の周知 民間事業者の参入の参考となるポテンシャルリストの公表・活用促進	事例集の掲載数増加	https://www.mlit.go.jp/river/riyou/main/kasenshikichi/index.html
			河川における環境教育の推進	『川に学ぶ』体験の推奨、学習指導要領への河川教育の位置づけ	「『子供の水辺再発見』プロジェクト」により河川での環境教育を支援するとともに、学校教育との連携を強化するため、教科書出版社への説明会の開催や学校教育への教材提供を進める。	河川における環境教育の充実	https://www.mlit.go.jp/river/kanryo/main/kankyou/kodomo/kodomo.html
		みなとの利活用	港湾環境整備事業（港湾緑地）	港湾緑地の整備面積：2,382ha	港湾空間における良好な環境の実現のため、港湾緑地の整備を引き続き実施する。	臨港地区就業者のための快適な就労環境の確保や港湾を訪れる市民等に開かれたウォーターフロントの形成を図る。	—
	みなとの利活用	みなとオアシス	みなとオアシスの登録数：170箇所	みなとオアシスの分類分けによるコンセプトの明確化や他観光資源との連携を図る取組強化 ベストプラクティスの横展開 SNSを活用した広報等	各みなとオアシスの分類分けによるコンセプトの明確化や他観光資源との連携を図る取組強化 ベストプラクティスの横展開 SNSを活用した広報等	みなとオアシスの登録数：190箇所	https://www.mlit.go.jp/kowan/kanowan_tk1_000001.html https://www.waterfront.or.jp/oa/sisu/list.html
		水の日、水の週間	水の日・「水の週間」関連行事の件数：345件 同開催場所：9／9地方 (北海道/東北/関東/北陸/中部/近畿/中国/四国/九州) (いずれも令和7年度実績)	8月1日「水の日」を初日とする「水の週間」における「水を考えるつどい」の開催や、地方公共団体へのブルーライトアップ実施の呼びかけ等を行い、健全な水循環に対する意識醸成、普及啓発を推進する。	健全な水循環に関する国民の理解と関心を深めるため、「水の日」・「水の週間」関連行事が継続して全国的に開催されている。	https://www.mlit.go.jp/mizukudo/mizsei/tochimizushigen_mizsei_tk1_000012.html	

水循環の健全化	適切な水利用の推進	水循環教育	・水循環に関するパネル・映像展示セットの巡回展示 先募集：1回／年 ・国主催の水循環教育関連講座の実施：1回／年 (いずれも令和7年度実績)	水循環に関する小学生向け、中学生向け学習教材の提供や、水循環に関するパネル・映像展示セットの巡回展示、水循環教育スキルアップ講座の開催等を実施し、健全な水循環に関する教育を推進する。	水循環に関する教材の公開、パネル・映像展示セットの巡回展示、講座開催等の実施による水循環教育を継続的に推進している。	https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/mizseitk1_000089.html	
		地下水マネジメント推進プラットフォーム	地下水マネジメント研究会参加都道府県数：47都道府県	地下水マネジメント研究会の開催等を通じた地下水マネジメントに取り組む地方公共団体に対する支援アドバイザー紹介、派遣や相談窓口の設置	引き続き、47都道府県に対して地下水マネジメント研究会を実施し、地下水マネジメントへの理解・関心を深める。	https://www.cas.go.jp/seisaku/gmpp/index.html	
		流域における生物多様性の保全 河川整備計画における環境の定量的な目標設定	河川整備計画（国管理河川）のうち、河川環境の定量的な目標を位置付けた河川整備計画の割合：0%（2024年度）	・河川整備計画（国管理区間）における河川環境の定量的な目標の位置付け ・モニタリングによる順応的管理の枠組み構築の推進	河川整備計画（国管理河川）のうち、河川環境の定量的な目標を位置付けた河川整備計画の割合：43%	—	
歴史・文化	歴史・文化の継承	歴史まちづくり	歴史まちづくり認定件数：100	歴史的風致維持向上計画の認定団体への支援等を通じた歴史的風致の維持及び向上に向けた取組みを推進	歴史まちづくり認定件数：130	https://www.mlit.go.jp/toshi/rekimachi/toshi_history_tk_000003.html	
		国営公園等の整備・維持管理	国営公園の年間入園者数：3,464万人	国営公園内の歴史・文化的資産、展示施設等の適切な維持管理や利用促進を図る。 また、首里城の復元、飛鳥・平城宮跡歴史公園、明治記念大磯邸園の整備等を進める。	国営公園の年間入園者数：3,700万人	https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_kokuei.html	
防災・減災	地震・全般	避難場所や防災拠点 帰宅困難者対策	防災公園 都市公園	防災拠点や避難地等の確保を図るために整備が必要な防災公園（全国268箇所）の対策（避難場所となる運動施設、支援部隊の活動拠点となる広場、災害応急対策に必要な備蓄倉庫・発電施設等の整備）完了率：48% インフラ長寿命化計画を策定済みの都市公園（約75,000公園（令和5年度時点））のうち、緊急度の高い老朽化した公園施設の改修等の対策を完了した都市公園の割合：51%	避難地や救援・救護活動の拠点等となる防災公園の整備・機能強化の推進 予防保全型管理への転換やストックの適正化に資する都市公園の老朽化対策の推進	防災拠点や避難地等の確保を図るために整備が必要な防災公園（全国268箇所）の対策（避難場所となる運動施設、支援部隊の活動拠点となる広場、災害応急対策に必要な備蓄倉庫・発電施設等の整備）完了率：100% インフラ長寿命化計画を策定済みの都市公園（約75,000公園（令和5年度時点））のうち、緊急度の高い老朽化した公園施設の改修等の対策を完了した都市公園の割合：100%	—
		土砂移動に起因する災害の防止	総合的な土砂管理	個別領域での対応が中心で、流砂系全体で連携した取組事例が少ない	総合的な土砂管理の推進と計画策定の手引き（第2.0版）の周知 土砂管理に関する知見の蓄積と横展開	土砂管理に関する知見の構築と展開、支援策の充実 流砂系全体で連携した取組事例の蓄積	—
		水害	雨水の貯留浸透	流域治水におけるグリーンインフラの活用推進 都市緑化	流域治水におけるグリーンインフラの活用推進 緑の基本計画に浸水被害の軽減に資するグリーンインフラの活用を位置づけている 緑の基本計画に浸水被害の軽減に資するグリーンインフラの活用を位置づけた都市（約100都市（令和4年度末時点））における取組完了率：11%	流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラの活用を推進 緑の基本計画に浸水被害の軽減に資するグリーンインフラの活用を位置づけた都市（約100都市（令和4年度末時点））における取組完了率：70%	—
	津波・高潮	波の減衰	予測を重視した順応的砂浜管理 協働防護	順応的砂浜管理に取り組んでいる砂浜が少なく知見や支援ツール等がない 民有護岸と公共護岸が混在するふ頭等を有する国際戦略港湾、国際拠点港湾及び重要港湾（全国63港）のうち、気候変動への適応水準や適応時期に係る共通の目標等を定める「協働防護計画」を作成した港湾の割合：0%	気候変動の影響を考慮した海岸保全基本計画への変更促進 予測を重視した順応的砂浜管理による砂浜の保全・回復の取組等の推進 多様な地域の推進主体による砂浜利用や環境保全の取組の支援 ガイドライン等の作成、公表	順応的砂浜管理に取り組むための支援ツールの充実と取組事例の蓄積 民有護岸と公共護岸が混在するふ頭等を有する国際戦略港湾、国際拠点港湾及び重要港湾（全国63港）のうち、気候変動への適応水準や適応時期に係る共通の目標等を定める「協働防護計画」を作成した港湾の割合：11%	https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr7_000120.html
		土砂災害	斜面崩壊の防止	都市山麓グリーンベルト推進事業	補助金等による支援の実施	六甲山系グリーンベルト等で市民団体等と協働で一連の樹林帯の形成を図る	市民団体等による持続的な維持管理が実施されている
暑熱対策	ヒートアイランド現象の緩和 人が感じる暑さを和らげる対策	都市構造の改善	ヒートアイランド現象緩和に向けた都市づくりガイドライン 緑の基本計画×グリーンインフラガイドライン（案）	各ガイドラインの周知	ガイドラインに基づいた民間敷地や公共施設の緑化等による地表面被覆の人工化の抑制を推奨する。 緑の基本計画×グリーンインフラガイドライン（案）の周知による基本計画の策定及び計画に基づく地表面被覆の改善の実施	各ガイドラインに基づく地表面被覆の改善の取組の推進	https://www.mlit.go.jp/common/001023246.pdf https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000472.html
		都市緑化	都市緑化による暑熱対策に関する情報発信（国交省HP） 脱炭素・クールダウン都市開発推進事業	屋上緑化施工面積：227.7ha（2023年度） 暑熱対策等に資する先進的な取組に関する実証を実施	屋上緑化・壁面緑化の先駆的な取組事例等を国交省HPで発信する 暑熱対策等に資する先進的な取組を都市において実証する事業の支援を引き続き推進する	屋上緑化施工面積：302.1ha 暑熱対策等に資する先進的な取組を都市において実証する事業による取組を広く社会全体に横展開	—
	河川・湿地地域	都市地域	生物多様性に配慮したみどりの基本計画策定の手引き ロードキル対策	直轄国道におけるロードキル発生件数 約7万件（令和4年度）	緑の広域計画、緑の基本計画における生物多様性に関する目標等の設定の推進 ロードキルデータベースの充実やデータを活用した対策技術の開発・実装について、官民連携で取組の推進	緑の基本方針に基づく目標が設定された緑の広域計画・基本計画の数：150計画 データ駆動型のロードキル対策手法の確立	https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000022.html https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/utilization/seibusutayousei/kyousei.html
生物多様性の確保	河川・湿地地域	河川・湿地地域	多自然川づくり河川整備計画における環境の定量的な目標設定 河川を基軸とした生態系ネットワークの形成	河川整備計画（国管理河川）のうち、河川環境の定量的な目標を位置付けた河川整備計画の割合：0%（2024年度） 生態系ネットワーク形成の取組に参画している主体の数：100団体（2024年度）	河川整備計画（国管理区間）における河川環境の定量的な目標の位置付け モニタリングによる順応的管理の枠組み構築の推進 生態系ネットワーク形成の取組の優良事例やノウハウの全国展開	河川整備計画（国管理河川）のうち、河川環境の定量的な目標を位置付けた河川整備計画の割合：43% 生態系ネットワーク形成の取組に参画している主体の数：110団体	—
			ブルーインフラの評価手法がない。	技術基準への反映を目指し、ブルーインフラの評価手法の開発を実施中。	ブルーインフラの評価手法が技術基準などに反映され実装されている。	https://www.mlit.go.jp/kowan/lv	

沿岸域	沿岸域	命を育むみなどのブルーインフラ拡大プロジェクト	藻場・干潟などのブルーインフラの保全・再生・創出の活動や活動への支援の取組が広がる仕組がない。	NPO等の活動者、企業等の支援者、フィールドを提供する国・港湾管理者等の3者のマッチング機会の創出、サポート方策などの検討を進める。	多様な主体が連携してブルーインフラの整備が実施される。	https://www.mlit.go.jp/kowan/kanowan_tk6_000069.html
		環境教育	「海辺の自然学校」の開催数：31回（令和6年度）	良好な自然環境を活用し、児童親子を対象に、国、自治体、NPO等が連携して「海辺の自然学校」を全国で開催。	良好な自然環境を活用し、国、自治体、NPO等が連携して「海辺の自然学校」を開催し、環境教育等による生物多様性に関する普及啓発がなされている。	—
		再生行動計画	各湾の再生行動計画の策定：済	東京湾、伊勢湾、大阪湾及び広島湾において、各湾の再生行動計画に基づき、東京湾はR10年度、大阪湾はR11年度の中間評価、伊勢湾及び広島湾はR8年度の最終評価に向けて取組を進める。	各湾の再生行動計画に基づき、閉鎖性海域における環境改善のための総合的な施策を推進していく。	—
ビジネス・イノベーション	都市再生	—	「都市の個性の確立と質や価値の向上に関する懇談会」を設置し、「都市再生」のこれまでの取組を振り返るとともに、中長期的な視点や地域文化を育む観点から、新しい時代の都市再生のあり方を検討。	規模や立地の特性を踏まながら、まちなかのイノベーション創発に資する環境整備を図る都市を推進する	都市の個性と質や価値に着目した都市の再生に関する方向性が明確化を図る施策の展開	https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_tk_000088.html
地域経済の活性化	都市空間の利活用	Park-PFI制度	Park-PFI制度の利用が進んでいる	都市公園の質の向上に向けたPark-PFI活用ガイドラインの周知・活用促進 Park-PFI事例集の拡充	Park-PFI制度の利用事例の更なる増加	https://www.mlit.go.jp/park/toshi_parkgreen_fr_000059.html
		—	ほこみち（歩行者利便増進道路）活用	人中心の道路空間のあり方の検討	人中心の道路空間を創出し魅力を向上させる手法の展開	https://www.mlit.go.jp/road/irir-council/people-centered_road-
		道路協力団体制度	指定団体数：45団体（直轄国道）	道路管理者と連携して業務を行う団体として、自発的な業務への取組を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図る	地域の実情に応じた道路管理の充実	https://www.mlit.go.jp/road/kyoryokudantai/
	河川空間の利活用	かわまちづくり支援制度	魅力ある水辺空間の創出を行った箇所数：286箇所（2024年度）	「かわまちづくり」の優良事例等について整備内容と効果について分析し、かわまちづくり計画作成の手引きへ反映し横展開する。	魅力ある水辺空間の創出を行った箇所数：350箇所	—
		河川敷地占用許可制度	事例集の作成	河川空間のオープン化活用事例集を活用した優良事例の横展開 河川敷地の更なる規制緩和『RIVASITE』の周知 民間事業者の参入の参考となるポテンシャルリストの公表・活用促進	事例集の掲載数増加	https://www.mlit.go.jp/river/riyou/main/kasenshikichi/index.html
	水辺空間の利活用	ミズベリング	各地域で魅力ある水辺空間の創出・活用が実施されており、引き続き水辺の魅力発信が必要	水辺の魅力や好事例の発信により、官民一体となった水辺空間の利活用の機運醸成	官民一体となった水辺空間の利活用に取り組む地域の増加	https://mizbering.jp/whatismizbering
	みなどの利活用	みなど緑地PPP	みなど緑地PPPなどにより民間活用した港湾緑地数：2	みなど緑地PPPガイドラインの策定 みなど緑地PPPに取り組む港湾管理者等への伴走支援の実施 港湾緑地の使い方をみんなで考える意見交換会等	みなど緑地PPPなどにより民間活用した港湾緑地数：20	https://www.mlit.go.jp/kowan/kanowan_tk4_000061_2.html
	観光	景観まちづくり	景観改善推進事業による支援 景観行政セミナーでの周知啓発 事例集の公開	景観計画に基づき重点的な取組を進める市区町村数：423団体 マニュアルの作成・公開 景観行政団体の景観計画策定・改定に向けた伴走支援	景観計画に基づき重点的な取組を進める市区町村数：535団体	—
		観光資源化の取組	ガーデンツーリズム登録制度の各登録団体の取組紹介、全国の登録団体を集めた会議の開催等	旅行事業者との連携や緑化フェアなどの緑に関するイベントの場での周知	ガーデンツーリズムの登録計画の取組推進、新規計画の登録推進	https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_gardentourism.html
			日本風景街道	登録数：147ルート 観光振興に資する新たな活動に係る取組を検討	多様な施策との連携による「もっと繋がる風景街道」の実現	https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html
			日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）	日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の普及啓発	適切な観光地マネジメントの推進	https://www.mlit.go.jp/kankoho/content/81000951.pdf
		ダイナミックSABOプロジェクト	事例集の作成	ダイナミックSABOプロジェクト支援チームによる取組事例や課題の共有・情報交換、対応案の検討 ダイナミックSABOプロジェクト事例集の周知	事例集の掲載数増加	https://www.mlit.go.jp/mizukudo/sabo/dynamic_sabo.html
二地域居住	魅力ある地域づくり	広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律に基づく計画制度	特定居住促進計画の策定数：5件	市町村の計画策定にかかるガイドラインの作成・周知、説明会の実施	特定居住促進計画の策定数：600件（令和11年度）	https://www.mlit.go.jp/kokudosaisaku/kokudokeikaku_tk4_000015.html
土地の有効利用	低未利用地の利活用	空き地の適正管理及び利活用に関するガイドライン	空き地におけるグリーンインフラの活用に関する知見が少ない	空き地の適正管理及び利活用に関するガイドラインに基づいたグリーンインフラの実装事例の創出	空き地におけるグリーンインフラの活用に関する知見が蓄積	https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo_tk2_000099.html
	人口減少下における適切な国土管理	国土利用計画に基づく国土の管理構想	都道府県・市町村・地域管理構想の策定数は着実に積み上がってきてている。	国土管理の必要性や考え方について、取組事例や管理手法等の情報提供も含めた普及啓発を行う 市町村や地域等における管理構想の策定を支援	各レベル（都道府県、市町村、地域）における管理構想の取組が普及されている。	https://www.mlit.go.jp/kokudosaisaku/kokudoseisaku_tk3_000130.html
温室効果ガスの削減	吸収源対策	都市における取組	都市緑化	都市緑化等による温室効果ガス吸収量：132万t-CO2(R5)	都市緑化や都市公園の整備等による吸収源対策の推進 都市緑化等によるCO2吸収量に係る算定手法の精度向上	都市緑化等による温室効果ガス吸収量：124万t-CO2
		みなどにおける取組	命を育むみなどのブルーインフラ拡大プロジェクト	2023年のブルーカーボンのCO2吸収・固定量：34万t-CO2（2025年度温室効果ガスインベントリ）	ブルーインフラ（藻場・干潟等及び生物共生型港湾構造物）の保全・再生・創出を通じたブルーカーボン（海洋生態系によって吸収・固定される二酸化炭素由来の炭素）を活用した吸収源対策を進める。	2035年度のブルーカーボンのCO2吸収・固定量：100万t-CO2（地球温暖化対策計画（令和7年2月閣議決定））
	排出量削減	人中心の道路空間	まちなかウォーカブル推進事業	滞在快適性等向上区域を設定した市町村数：132市町村	マチミチ会議や講演等での普及啓発の推進	滞在快適性等向上区域を設定した市町村数：200市町村
		都市の緑のエネルギー利用方策に関する技術的指針（案）	有効活用事例が少ない	剪定枝や落ち葉等の有効活用に関する先進事例等の公開	剪定枝や落ち葉等の有効活用事例が増加	001341503.pdf
		河道内樹木採取民間活用ガイドライン（案）	有効活用手法の周知が不足	バイオマス利活用の推進：「河川内樹木及びダム流木のバイオマス利用の手引」のさらなる周知	河川内樹木のバイオマス発電利用の促進	

循環型社会 の形成	資源の有効活用	下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業	地域バイオマスや廃棄物処理施設等との連携事業実施数: 9件(2020年度)	下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業の充実等により、地方法公共団体に案件形成を支援	地域バイオマスや廃棄物処理施設等との連携事業実施数: 20件	https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewage_tk_000628.html
		命を育むみなどのブルーインフラ拡大プロジェクト	ブルーインフラの評価手法がない。	技術基準への反映を目指し、ブルーインフラの評価手法の開発を実施中。	ブルーインフラの評価手法が技術基準などに反映され実装されている。	https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk6_000069.html
		炭素貯蔵効果が期待できる中大規模木造建築物の普及に資するプロジェクト	低層の木造住宅がほとんどであるが、中高層住宅や非住宅では木造化が進んでいない状況がある。	都市における炭素貯蔵の観点から、炭素貯蔵効果が期待できる中大規模木造建築物の普及に資するプロジェクト等に対して支援を行い、木材利用の拡大を図る。	中高層建築物の木造化が促進され、建築物の木材利用が進む。	https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001479325.pdf